



野田・薬学部キャンパス



Contents

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 2 増淵理窓会会長 新年挨拶 | 13 大学トピックス |
| 4 本山東京理科大学理事長 新年挨拶 | 14 卒業生だより |
| 5 HCD 松本学長記念講演 | 16 研究室紹介 |
| 6 理窓会トピックス | 18 TUS FORUM 2018 開催報告 |
| 8 関連団体・諸会だより | 19 東京理科大学のルーツを求めて |
| 11 支部だより | 20 年賀広告 |

新たな元号の年を迎えるにあたって

理窓会会長 増渕忠行



日本全国で、また世界各地で活躍の東京理科大学および姉妹校卒業生の皆さま、あけましておめでとうございます。

毎年のことですが新年を迎え過ぎし一年を振り返り、心新たに目標を立てていますが、今年は5月には元号も変わりますのでこれまでとはひと味違った思いです。理窓会にとっても大きな節目の年になることでしょう。

昨年4月、石神一郎会長からバトンを受け会長の任にあたっています。二人の監査委員にポイントポイントでチェックを受けながら、5人の副会長、16人の常務委員とスクラムを組み、改革と活性化に取り組んでいます。

昨年の暮、カウントしてみましたら理窓会が2005年に「理窓会ルネサンス」と唱えて『理科大Today』の創刊やホームカミングデー(HCD)の開催などで、新たなスタートを切ってから13年が経過していました。そして13年後の2031年には東京理科大学が創立150周年を迎えます。元号が代わる今年は大きな「一里塚」に当たる年と思いました。過ぎし13年間にはすさまじい勢いで「情報化の波」が押し寄せてきましたが、理窓会もホームページを立ち上げ、『理窓』を含め多くの情報を紙ベースだけでなくインターネットでお伝えするようになりました。この先の13年後はどんな世界になるか想像を絶するものがありましょ。私達は明治14年の東京物理学講習所開校以来130年を超え、脈々と受け継がれている「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」という建学精神の強いDNAを持っています。この建学の精神を大切に、更に時代の変化に適応した東京理科大学の校友会として、更なる発展を目指したいと考えております。

東京理科大学の校友会である「理窓会」は、事業として「①大学発展への支援、②同窓会活動への支援、③在学生への支援、④情報発信とネットワークづくり」の4つの柱を持っています。

この9か月間、特に取り組んだこと

理窓会収入の大半を在学生からの前受15年会費に頼っています。前受け預かり金として保有しておかなければならないお金と、活性化のために一部を活用させていただくお金とをきちんと分けて考える「予算管理改善」に取り組みました。収支のバランスを取りながら貴重な財産を活用し、どのようにして理窓会事業を充実させて更に活性化させるか、日々頭を痛めています。ここ数年、支出の大半をホームカミングデーの開催費用と会誌『理窓』の発送費用に充てて来ましたが、本来の目的を達成した上で合理化できるか見直しに着手しました。

ホームカミングデー

昨年晩秋の10月28日(日)に大学と共催で開催したHCD

2018は、過去12回は違った形で取り組みをしました。これまでは企画運営をイベント会社に委ねていましたが、今回は手づくり感を前面に出し、大幅な費用削減にチャレンジしました。大学の事務職員・教員と理窓会員のボランティアを中心に実施しました。

「かつては理科大生だった」ことを思い出しながら、大勢の卒業生に集まって頂き、大学の現状と将来計画をお知らせするとともに、クラス会や支部、関連団体等の活性化と拡大を目指し、「同窓出合いの広場の拡大版」の考え方で基本計画をたてました。大胆とも受けとめられる実施予算削減を宣言し、果たしてうまく実施できるか心配でしたが、多くのみなさんのご努力ご協力で「理科大らしい質素な形」でしたが、多くの卒業生の参加を頂き中身も濃く大きな成果を得ることができたと思っています。

企画実行部会長を務めていただいた廣瀬和昭さんには、ことのほかご苦勞をおかけし、費用削減目標も達成できました。計画力、連携プレー力には感服しました。本紙面をお借りして心から御礼申し上げます。全体を通して一部の方にご負担をかけすぎたことは反省していますが、今回の経験の一つのノウハウとし、次年度につなげたい。何事もPDCAの管理サイクルを回すことが、次の発展につながると考えています。

HCDの目玉イベントに「卒業50周年記念祝賀懇親会」がありました。卒業50年を迎えた同窓は全員が神楽坂キャンパスの卒業生で、教養課程での体育の授業を受けた旧薬学部校舎近くの現10号館で開催しました。冒頭、本山理事長から「大学の現在と未来」につてご講演をいただいたあと、記念バッジをいただきました。偶然、私も該当年次であったため、代表して背広の襟にバッジをつけていただきました。

今年(2019年)に卒業50周年を迎える皆さん、是非晩秋のホームカミングデー(2019年10月



27日、神楽坂で開催予定)に合せてクラス会を計画してください。卒業40,30,20,10周年該当の皆さんも同じように計画してください。研究室やクラブ活動などの同窓会計画も、HCDに合せていただけるとより盛り上がると思います。まさに母校(home)に里帰りをする集いにしましょう。

5月に通巻500号となる会誌『理窓』

『理窓』は年3回発行し、大学の最新情報と理窓会の全国各支部の活動状況、登録が70団体に達した関連団体の活動報告、社会で活躍する理科大卒業生の紹介、更に新たに最先端で活躍する研究室紹介、歴史ある東京理科大学のルーツを求めて等の記事を掲載して卒業生の皆さんに情報発信しております。しかしながらHCDと共に出費の多いのが会誌『理窓』の編集・発送費用です。特に発送費用です。

会誌『理窓』の原点は明治22年(1889年)6月、「東京物理学校同窓会雑誌」発行に遡ります。発刊以来130年もの長い年月、歴代編集長を中心とした多くの皆様に支えられてきました。苦難の道もたどられたと伺っています。昨年夏急逝された奥原千里先生を中心に一時中断していたものを平成12年(2000年)に復刊されました。

その後、発行費用が財政を圧迫し、一昨年春に会誌『理窓』と情報紙『理科大Today』とを合本しました。しかし、第二弾の対策が必要となり今回(2019年1月号)から会費納入者と未納者への紙ベース会誌の発送方法を変えました。詳しくは本誌裏表紙をご覧ください。

新たに注力したいこと

個人情報管理

日々様変わりする情報化時代により遅れないようにしなければなりません。常に注意しなければならないことのひとつに個人情報管理があります。大学の情報管理部門の指導、協力を仰ぎながら、連携して「名簿管理システムの再構築」を進めています。支部や関連団体の活性化には連絡先情報がなければ組織は衰退の一途をたどってしまうとの声も届いています。それぞれの管理責任者とも連携強化を図り、活性化につなげる難題をクリアしてしていきたいと思っています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

第110回を迎えた新年茶話会

年明け早々に開催している新年茶話会は、ひとつの節目となる110回目を迎えました。300人を超える同窓が飯田橋駅に近いホテルメトロポリタン・エドモントに集い、同窓叙勲者や坊っちゃん賞受賞



者、また三世代表彰や理窓会発展のためにご功績のあった先輩方に称号「参与記」を授与し、祝い、懇親を深めています。

遠方の方は、年始早々にはなかなか出席し難い面もあるものと思われます。そこで別な形を考えられないか。関西や九州、東北などの他地区でも新年茶話会のような集いを「理窓会が計画し、大学の協賛を得て実施できないかな」と考えています。今年はミニプロジェクトを組んで検討したいと考えています。

企業内理窓会の発掘

昨年5月のことですが、愛知県刈谷市の豊田自動織機さんに177名の現役の東京理科大卒業生がおられ、「織機理窓会」の総会・懇親会を開催するとの情報を入手しましたのでお邪魔しました。懇親会では活気ある素晴らしい集いが繰り広げられました。その後、理窓会の関連団体登録もしていただきました。また、10月には



広島市の「マツダ理窓会」総会・懇親会の案内をいただき出席しました。こちらも172名の現役同窓が働いておられ、出席者の半数以上が21世紀卒で若きエネルギーな皆さんから沢山のパワーをいただきました。鳥人間や学生フォーミュラなどで活躍された若き卒業生とも再会でき、有意義な時間を過ごしました。

大学から「東京理大卒者が企業などでどんな活躍をしているか、最近入社した方の評価やこれからどんな学生を求めているか知りたい。ぜひ情報提供願いたい」と依頼を受けています。皆さま、理窓会事務局まで情報提供をお願いします。

海外での活躍

海外支部は現在7支部あり、その中で多くの方が活躍されていますが、なかなか「理科大卒」を前面に出されない傾向があるようです。一方、東南アジアでは「理窓会の活躍は素晴らしいですね」と高く評価されているとの情報もあります。頼もしくうれしいことです。小さなグループでも結構です。自主的な集まり情報をお寄せください。「理窓会の旗」の前に集みましょう。

若い世代の気楽な参加を

これまで21万人近くの卒業生が社会に出ています。13年後には、新たに約6万人の卒業生が生まれます。若手(20,30代)、中堅(40,50代)、ベテラン(60以上)とが、ほぼ1/3ずつになります。若い方は都市部に集中しており、なかなか地元に戻らないなど頭の痛い問題を抱えています。同窓会活動、特に支部での集いなどに、もっともっと若い世代の方が、気楽に集まれるようになればと思います。

これからの13年

13年後の2031年には東京理科大学が創立150周年を迎えます。私たちも「世界の理科大」を目指している大学との連携を深め、「共働」で更なる発展につながる実りある一年にしたいと存じます。皆さまのご支援ご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。



2019年 理事長挨拶 理窓会の皆様へ

学校法人東京理科大学 理事長 **本山 和夫**



新年あけましておめでとうございます。理窓会の皆様におかれては、健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年は、平成最後の新年を迎えるにあたり、この31年間の理科大の歩みを振り返ってみました。

平成が幕を開けたのは1989年、日本はバブル景気に沸いておりました。本学においても、平成を迎える直前、1987年(昭和62年)に基礎工学部の設置にあわせ長万部キャンパスを開設、また同年に東京理科大学山口短期大学を設置。1990年(平成2年)に東京理科大学諏訪短期大学を設置、1993年(平成5年)に経営学部を設置する等、日本経済の成長にあわせ拡大基調を歩んでいました。

しかし、戦後一貫してきた日本の成長は、1991年のバブル崩壊を機に成熟期へと転換を迎え、大学を取り巻く環境をみても、1992年に205万人とピークを迎えた18歳人口が、2019年の本年には118万人と4割以上も減少しました。その間、バブル崩壊後の採用者減少による就職氷河期、国立大学の法人化による交付金の縮減等、これまでの成長を前提とした社会構造が限界を迎え、大学も企業も真に実力のある、また危機感をもった組織だけが生き残れる時代となりました。

本学においてもこの新たな時代を生き残り、さらなる発展を遂げるべく一昨年に“TUS Vision 150”を策定し、創立150周年を迎える2031年の姿を描くことで、今後15年の方向性を示しました。中でも“世界の理科大”実現に向け、今後大学が長く発展し続けるための基盤整備、国際化の推進、そしてリカレント教育のさらなる充実にも取り組んでいます。

大学の基盤整備としては、私の理事長就任以来、大学の基礎体力を強化すべく財務の立て直しに注力しましたが、毎年の経常収支がプラスになる目処がたち、今後は教育研究面の基盤整備として、全学的な学部・学科の再編計画を推進しております。将来に向けて、改めて本学の教育・研究や組織を見直すとともに、AIやIoTの進展等、時代の要請にも応え得る体制の構築が必要と考えております。

既に昨年、計画の一端を公表しており、ご存知の方も多いと思いますが、基礎工学部の1年次教育を長万部から葛飾キャンパスへ、また、野田キャンパスの薬学部を葛飾キャンパスへ移転させることを柱とした学部学科の再編計画を策定いたしました。これによりキャンパスの特色を明確化

し、強みを更に伸長させてまいります。春には再編後の各キャンパスの姿を皆様にお知らせできる予定ですのでご期待ください。

また、国際化の推進のため、学部再編の一環として計画しているのが、長万部キャンパスの国際教育の拠点化です。詳細につきましては今後改めてお知らせしますが、経営学部国際系学科を新設するとともに、理工学部新たに留学生のための教育課程を開設し、両課程の1年次教育を長万部キャンパスで実施する計画です。北海道は訪日観光客の人気エリアとして定着し海外での知名度も高いこと、学業に集中できる全寮制という環境を具備していることから、長万部キャンパスの可能性を最大限活用して新たな初年次教育プログラムを立ち上げます。併せて、野田・葛飾の各キャンパスにも、彼らの生活を支える学生寮の建設を進めており、ソフト・ハードの両面から整備を進めることで、多様な国籍の学生が学ぶキャンパスを実現します。

3点目はリカレント教育の充実です。我が国は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えており、今後は、「教育・仕事・老後」という3ステージの単線型の人生ではなく、“絶えず学び直しを通じたアップデートや、新たなスキルの獲得が必要不可欠”とされる「マルチステージ人生」の実現が期待されております。このような社会の変化に応えるべく、従来の「生涯学習センター」を発展的に解消し、昨年4月から、「東京理科大学オープンカレッジ」を開設しました。オープンカレッジでは、社会人として有用な知識や技術をブラッシュアップできる教育の場を提供します。

また、薬学分野における社会人博士の学位取得支援などを目的として、神楽坂キャンパスに「医療薬学教育研究支援センター」を設置したほか、理学部第二部における履修単位課金制度の検討、工学部に社会人を対象とした新たなコースを開設する等、社会人の学びやすい環境整備を計画しております。これら一連の取り組みを通じ、卒業生を含む多くの社会人が集い、様々な年代の多様な学生に学びの場を提供してまいります。

今年、2019年には、野田キャンパスが大きな変貌を遂げます。2月には、2020年4月の竣工を目指し、新実験棟の新築工事も始まります。また、6月には昨年着工した新7号館が完成する予定です。新7号館には、横断型の教育・研究施設、学生交流ホール等が配置され、新たな野田キャンパスの象徴となります。野田キャンパスの再構築に続き、神楽坂、葛飾でもキャンパスの整備を予定しており、2031年に迎える150周年、更には200周年に向けて大学を更に発展させるべく、着実に施設・設備も充実させていく計画です。

皆様の母校である東京理科大学が、今後もさらなる発展を続け“世界の理科大”を実現すべく、法人、教職員一同、努力してまいりますので、同窓の皆様におかれましても、一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。



HCD松本学長記念講演 東京理科大学の発展に向けてー理窓会との連携の中でー

東京理科大学 学長 **松本洋一郎**

近年、大学を取り巻く環境は大きく変化しています。なかでも、18歳人口の減少に伴って、大学進学率は上がるものの、進学者数は減少すると予測されており、どの様に入学者を確保していくかは大きな課題となっています。そういったなかで、中央教育審議会では、大学の在り方について議論がなされており、それによれば、実務家など多様な教員の任用、学部の枠などを超えた多様な教育研究分野の編成、社会人など多様な学生の受入れ、多方面との連携など、「多様性」をキーワードとした運営が求められています。特に、私立大学においては、大学間や自治体・産業界との連携・協力、ガバナンスの強化等の取組みにより、その特色である多様性・機動性を活かし、教育の質の確保、社会の急速な変化に対応した教育研究の推進・高度化を行うことが求められています。その為には、不断に外部の意見を取り入れ、社会への説明責任を果たし、産官学と真の連携を行う事が重要です。大学にとっては、教員、職員、学生、同窓生は車の四輪であり、特に、同窓生は大学に最も近い「社会」の利害関係者で、直接的な情報交換は大学にとって最重要課題となっています。

本学は、東京大学理学部物理学科を卒業した21人の理学士らによって「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」という建学の精神のもと、「東京物理学講習所」として1881年に設立されました。その後「東京物理学校」に改称され、東大からの支援を得つつも、自律的精神の下、「同盟」を結んだ彼らによって、民主的に、維持、運営されてきました。これは東京理科大学を特徴づける原点になっています。設立にかかわった理学士らは、学術への気概に満ち、情熱に溢れた教育者でした。その志は東京物理学校で学ぶ学生たちにも共有され、真に実力を身に付けた者のみが卒業していました。当時から「実力主義」の学校として定評があったのです。優秀な理数系の教育者を多く輩出するなど、今日でも、その伝統は脈々と受け継がれています。

本学は設立以来、暫くの間、維持同盟を結んだ彼らによって運営されてきましたが、1934年、理化学研究所の3代目所長である大河内正敏を4代目の校長として迎え、応用理学分野も加えて大きな発展を遂げました。1949年に行われた学制改革によって、東京物理学校は東京理科大学となり、初代の学長には、東北大学の総長を務めた本多光太郎を迎え、さらなる発展を遂げました。本多光太郎は「学問のある所に技術は育つ。技術のある所に産業は発展する。産業は学問の道場である。」と喝破し、研究レベルの高い大学に発展させました。そして今日、東京理科大学は、我が国屈指の理工系総合大学となっています。

本学のさらなる発展には、既に述べたように、社会的要請を不断に取り入れつつ、その伝統的役割を果たし続けることが必要です。そのためには、将来目標を明確にし、教員、職員、学生、卒業生など全構成員がビジョンを共有し、それに向けての方策を着実に実行していくことが肝要です。理工系総合大学という特長を活かし、多様な環境に適合していくことが、理科大を大きく発展させ、次世代の科学技術イノベーションや産業の発展

に貢献することに繋がると確信しています。

教育においては、伝統である「実力主義」を深化させ、専門知識に加え、幅広い教養や国際性、人間力を身に付け、多様な場において活躍できる人材を育成したいと考えています。そのためには、教育支援スタッフの充実、教育連携国際ネットワークの構築、教育手法の研修機会の拡充など全構成員の教育力の向上を図る必要があります。研究においては、個人の自由な発想に基づく研究を支援するとともに、社会の要請を意識した戦略的研究を推進することが必要です。そのためには、国公立や民間の研究機関とのさらなる交流・連携を推し進め、国際的な研究連携ネットワークを構築し、教員の国際的なプレゼンスの向上を図る必要があります。

我々を取り巻く社会的課題は益々複雑化し、その解決に必要な知識は益々細分化されています。知識の細分化は、学術の理解を困難にするのみならず、専門家にとっても領域外との連携が困難な状況を生んでいます。そのことは、国連が定めた「持続可能な開発目標」を見るまでもなく、地球環境問題の深刻化、世界的な財政危機など多様な社会的問題・課題を生む要因となっており、解決を困難にしています。そのような状況を打開するには、各専門領域における知識基盤の充実が重要であるとともに、知識を構造化し、活用できるようにすることが必要です。さらに、領域融合型イノベーションに加えて、大学間や自治体・産業界との連携を強化し、オープンイノベーションを起こしていく必要があります。理科大が大きな連携のハブとなり、産官学の共同研究・協働作業を通じた研究の推進、人材の育成・交流のプラットフォームを構築していきたいと考えています。理窓会会員各位との連携に期待しています。



初めて大学の先輩、後輩であったことも知る ～理窓ワトソン会～



6月14日(木)ポルタ神楽坂で『第6回理窓ワトソン会』を開催しました。理窓ワトソン会とは、東京理科大学の学部や大学院で学び、かつ、日本IBMに勤務した又は勤務している同窓生の組織です。今回はOB、OG合わせて47名が出席しました。

話題提供は日本IBMの執行役員鶴田規久様による「ビジネス変革をリードするAI(人工知能)IBM Watson」と題する講演でした。そして2015年MOTを修了された鈴木博和さんが講演をアシストされました。Watsonは人と対話し、必要な情報の探索や高度な意志決定を支援することが出来、世界45ヶ国、20業種以上の企業に導入されています。適用領域としては「コールセンター・オペレーター支援」、「学生支援システム」などの顧客接点改革、「エンジニア支援」、「個別化医療支援」などの業務プロセス革新、「インテリジェント・オーダーシステム」、「確定申告サポート」などの商品開発な

どで活用されております。

代表的な事例としては東京大学医科学研究所の「効果的な治療法の発見」が挙げられます。講演後田中芳夫さん(1973年工学部)による謝辞、理窓ワトソン会の旗の下、櫛引治さん(1971年工学部)による集合写真撮影が行われた。

懇親パーティーは、中谷幸俊さん(1971年理学部)の司会、岩崎任男さん(1960年理学部)の乾杯のご発声で始まりました。

パーティーでは、お互いに初めて顔を合わせる方も多く、数分で十年來の親友同士の会話へと進みました。中には日本IBMの社内でお互いに顔見知りであったが、初めて大学の先輩、後輩の関係にあったことを知った方々もありました。

そして初参加の皆様の自己紹介があり、最後に安永達幸会長(1970年理学部)のクロージング・スピーチで『第6回理窓ワトソン会』はお開きとなりました。

理窓ワトソン会連絡先：東海林徹 shohji@s07.itscom.net



2年後に60周年を迎える ～鶴志会～

「鶴志会」は東京理科大学I部柔道部のOB会として昭和36年に発足しました。「鶴志会」の名称は校歌の一節「たかき鶴志の根とならん」から取り命名されました。

当会は卒業生の懇親及び現役柔道部員の支援を目的としており、現在、会員数は神楽坂校舎、野田校舎、葛飾校舎、旧久喜校舎の卒業生で500名を超えますが、アクティブな会員は、その約300名程度です。

当会では卒業生の同期から原則2名に幹事をお願いし、隔月に幹事会を開催し、活動の計画・実行を推進しています。活動のメインイベントは、年一回(6月上旬から7月上旬)の全会員を対象とした定期総会とその後の懇親会の開催で、例年約40名の卒業生が出席し旧交を温めるとともに、現役柔道部員も招待して懇親を深めています。

また、現役時代に最大の目的であった、全日本理工科学生柔道優勝大会(毎年6月講道館開催)に卒業生の参加を呼びかけ、応援観戦を行い、更に試合後に学生との懇親会を行っています。平成28年、29年には本大会連覇を果たし、懇親会が盛大な優勝祝賀になりました。

更に、11月には幹事を主体とした忘年会と翌年の卒業生を新入会員として迎える歓迎会を行っています。

学生への支援として、柔道部の監督及びコーチとして卒業生が柔道部を指導するとともに当会から各大会登録費等の補助として支援金を毎年贈呈しています。



情報交流の場を皆様と一緒に ～からくり会～



「からくり会」は「神楽坂の理科大学」から命名、昭和22年卒を中心とした親睦会「あゆの会」が前身、「理翔会」を経て、平成18年4月6日に卒業生及び関係者、学生と年代を超えた構成で、親睦と情報交流を目的にしています。

“からくり”会は、寛政8年(1796年)に“からくり半蔵”こと細川半蔵頼直が、世界に誇れる「機巧圖彙」(きこうずい)を出版し、明治以前の唯一の機械工学書として高く評価されており、門外不出である秘伝技術を公開した事はとても革命的な事であります。この主旨を念頭に、ボランティア精神でこの情報交流の場を皆様と一緒に活動したいと祈念しております。

からくり会の例会は、語り部による話題提供のトークライブをメインとしての情報交換会です。複数の会員の推薦があればどなたでも入会出来ます。さらにはグルメを楽しむ会、花火大会、お花見会等を企画、皆様のご参加をお待ちしております。

「からくり会」例会の開催要領

開催日：月1回(但し、1月と8月は休会)

日時：第1木曜日を原則とし18:00～20:30

場所：原則としてPORTA神楽坂6階 第一会議室

会費：男子3,000円、女子1,000円

連絡手段：原則メール

世話人代表：島崎 益男(工・機1970)

連絡先：ホームページ <http://risoukai.com/karakuri/>



“ハイキュー仲間よ、「理窓排球会」に集まろうぜ！”

理窓排球会は平成28年10月に設立した、東京理科大学バレーボール部のOB・OGの集まりです。現在は昭和40年代に入部した会員(100余名)を中心としていますが、昭和50年代・60年代に入部した方、そして平成に活躍した若い世代の方々にも加わっていただきたいと考えております。当会の目的としては、①現役3チーム(葛飾・神楽坂、野田、女子)を物心両面で支援し、チーム力の向上と発展を図っていただくこと、②世代ごとに交流を深めながら世代間でも相互に研鑽を図り今後のより豊かな人生に役立てることとしております。

昨年の神楽坂HCDでは3回目の交流会を開催し(写真)、全国から集った仲間から近況報告と、現役3チームの代表者6名に来ていただきリーグ戦での活躍状況と寄付金の贈呈を行いました。何はともあれ、東京理科大バレー部の「ハイ

キュー」仲間よ、是非とも以下の連絡先に登録して理窓排球会の広場に集まろうぜ!!

連絡先：登坂滋(事務局長) sig.tosa3@gmail.com



Asahi SOFT DRINKS

すがすがしい。

ミッツ矢サイダー

のんだあとはリサイクル

創業から続く想いをカタチに。

To shape the feelings that follow from its inception.

2019年、ダイニックは、おかげさまで創業100周年を迎えます。

主要製品

書籍装幀材 / 文具・パッケージ素材 / カーベット・壁紙 / プリンターリボン / フィルムコーティング製品 / 各種印字・印刷用素材 / 接着芯地 / 不織布 / 自動車内装材 / 各種フィルター / ターボリン / 名刺・ハガキプリントシステム / 有機EL 用水分除去シート / 食品包材

ダイニック株式会社

東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル TEL.03-5402-1811 URL:<http://www.dynic.co.jp>

滋賀工場 / 埼玉工場 ISO 9001 14001 認証取得

王子工場 / 奥田工場 ISO 9001 認証取得

FSC® CoC 認証を取得 (東京本社・埼玉工場 滋賀工場) 責任ある森林管理のマーク FSC® C106862



今日まで39年間、延べ72回の講演会開催 ～理窓光学会～

1979(昭和54)年6月24日、理窓光学会設立記念講演会が旧8号館4階の教室で開催された。記念講演は物理学科の大竹周一教授の『物理の窓』出版報告と富士写真光機(株)部長鈴木正根氏の「ホログラフィディスプレイ」であった(共に故人)。その後、本会は毎年1～2回の講演会を開催し、光学に興味を持つ、理大同窓有志と互いに職場を越え切磋琢磨しつつ啓蒙し合って、今日まで39年間、延べ72回の講演会を開催している。設立当初、連絡等はすべて郵送であったので、当時の運営委員には通信費の徴収から始まり、郵便物の印刷・発送と多大なご苦労をお掛けした。7～8年前から、通信をメールに切り替え、同時にインターネット上にHPを開設するなどの工夫によって、会員のみなならず非会員にも広く情報を伝えられるようになっている。表1に直近3回の講演について、演目、講師、所属をまとめた。本年12月1日は第73回講演会が予定されており、近々HP上に発表予定である。



HCDでの万華鏡

理窓会HPの関連団体の項目で検索でき、またWeb上“理窓光学会”でも検索可能である。過去の講演会、会の生い立ちなども記載しており、是非ご覧頂きたい。

2018年のノーベル物理学賞は、①「光ピンセット」技術、②「CPA法を用いたパルスレーザーの増幅」技術に与えられた。まだ還暦前のレーザー光学に対してであり、基礎から応用まで幅広く最先端の科学技術を支える、まさに光学の最重要技術であり、大変興味深い。早晩、これらの技術についての詳細な解説をテーマに、理窓光学会での講演会を企画し、会員諸氏にご満足いただけるよう努力する所存である。

(理窓光学会会長 松野 直 記)

表1 第70回～72回理窓光学会後援会の講演題目および講師

回	西暦	月/日	講演題目	講 師	所 属
72	2018	6/2	光触媒TiO2の性能向上とその応用	関 蘇軍	東京理科大学理学部助教 博士(工学)
			光ファイバを用いた通信と応用	相葉 孝充	矢崎総業(株) 博士(工学)
71	2017	12/2	光音響イメージングに向けた高速波長可変レーザー	丸山 真幸	理化学研究所光量子光学研究領域 光量子技術基盤開発グループ (理博)
			光干渉センシングとイメージで見るロマン ～風速とヒト網膜内部の可視化～	キン ブイチャン	Topcon Advanced Biomedical Imaging Laboratory(USA) 所長(PhD)
70	2017	6/3	ボトムアップによるソフトなフォトニックデバイス	古海 誓一	東京理科大学理学部准教授 (工博)
			生物顕微鏡の高機能化のためのレーザー開発	前田 康大	理化学研究所光量子光学研究領域 光量子制御技術開発チーム (理博)

昭和46年より今も続けている「築理会名簿」の発行 ～築理会～

築理会は工学部建築学科の校友会組織であるがその名前は建築の「築」と理科大の「理」から来ている。活動の基となる名簿であるが、1期生が卒業した6年目に最初の「築理会名簿」(昭和46年)が発行された。当時は卒業生全員に名簿は発送されていたので、会費納入も昭和55年発行の場合、560名/(1,146名)での納入率49%であった。最初の12年間は名簿発行のみであったが、昭和58年、第1回築理会・懇親会が芝の「郵便貯金会館」で開催された。この時から「会報」等の発行など実質的な活動が始まっている。現在の活動は、年1回の総会・懇親会、「築理会会報」年2回発行、卒業制作作品集「りぼん」への支援、OBOGと学生との交流懇親会(就職支援)、学生への築理会賞、新年会(野田建築会との共同開催)、建築学科教員との懇親会などを行っている。



築理会賞審査会

ところで名簿であるが、現在も3年毎に紙ベースで発行している。記載数約7,900名、現住所把握73%、個人情報等で難しい面もあるが、記載不可と申し出がある場合記載しないオプトアウト方式を採用している。

下図は最初の時からの築理会名簿の表紙で、昭和40年代の神楽坂のイラストである。

名簿は「野田建築会」と共同で発行したこともあった。しかし、諸般の事情により3回発行で終わってしまった。



昭和40年代の神楽坂:懐かしい「佳作座」、「ハッピージャック・軽い心」、それに「人形の家」、「キッチンくま」など、交差点の角には警察の宿舍があった。(築理会会長 大岩記)



支部長会で提案の「支部活動と個人情報保護」に対応

《宮城支部》 支部長：加賀谷 秀樹(理工・物1973)
日 時：平成30年9月8日(土)
会 場：仙台ガーデンパレス

「みやぎ坊っちゃん・マドンナの会」と名付けて2年目。「総会」という堅苦しいイメージをネーミングで柔らかく演出、約800名に案内状を送付し39名の参加。総会では昭和58年以来の「会則の大改正」。一つは支部の会則第4条に「支部会員名簿の整理・発行」があり、6月の支部長会で提案された「支部活動と個人情報保護」に対応した。「副支部長制の導入」と「会費の値上げ」は承認された。交流会では、「祥子さんショー」「ビンゴゲーム」「新人の一言」で楽しみ、最後は北海道地震の被災者に黙とうをささげ、閉会した。



日鉱記念館の見学、日立製作所等の若手も参加

《茨城支部》 支部長：山極 時生(理工・電1971)
日 時：平成30年10月21日(日)
会 場：ホテル テラス ザ スクエア 日立

当日は晴天に恵まれ、日立市で支部総会を開催した。日立市の歴史の象徴であり、日本のCSRの原点ともいわれている日立鉱山の火煙突は新田次郎著の「ある町の高い煙突」のモデルであるが、現在映画化が進められている時期(今春公開予定)であることから、これに関連が深い日鉱記念館の見学を実施した。懇親会では地元日立製作所等の若手に参加いただき、90歳を超える大先輩まで幅広い年齢層、職種の卒業生の中で懇親を深めた。



母校の歴史と軽音楽で至福の時間を過ごす

《東京支部》 支部長：植木 キク子(理・物1961)
日 時：平成30年9月23日(日)
会 場：神楽坂キャンパス1号館

秋晴れの青い空、芸術の候に恒例の東京支部秋季大会総会を、報告会、講演会、演奏会、懇親会の次第で開催した。今年度の支部総会より、支部会員への告知を『理窓』への同封返信葉書方式から、SNSでの参加登録方式での二回目の呼びかけとなった。

講演会講師の森野義男維持会会長のプロフィールがあり、演題「母校の歴史、創成者の足跡」で講演があった。本学の創成者たちの使命感に燃えた維持同盟の生き様について、“今を大切に”の数々のアクションプログラムの足跡を、更に分かり易くブラッシュアップされたお話を頂いた。多数の方々が改めて“かたき故蹤の礎”に大きな感銘を受けた。



「書字検査」で平衡感覚の衰え自覚しその改善策の紹介

《秋田支部》 支部長：奈良 伯夫(理・応物1966)
日 時：平成30年10月20日(土)
会 場：ホテルパールシティ秋田竿燈大通り

母校の校歌を斉唱した後に、支部総会でH29会務報告、H29年度決算を説明・承認された。講演会では「高齢者のめまいと平衡機能」と題して、元帝京大学医療技術学部准教授の加賀宏先生による講演があった。「書字検査」という目をつづって自分の名前を3か所書き枠内に正確に書いているかで判断する手法。自分が書いた字を見るとバランスが崩れ平衡感覚が衰えていることを実感。めまいや平衡障害は転倒につながることからハーフスクワットの改善策を紹介した。写真撮影の後、懇親会となり、自己紹介と近況報告。各自席を移動しての楽しい懇親会となった。



川村教授(本学)の講演とギター演奏で盛り上がる

《千葉支部》 支部長：杉浦 雅美(理・応化1969)
日 時：平成30年8月18日(土)
会 場：ポートプラザちば

事業報告ほか5つの議案が承認され、新支部長は眞田孝則から杉浦雅美へ引き継がれた。議事の後、母校からの報告として岡村理事と坂本理窓会副会長より大学と理窓会の近況報告があった。続いて理学部第一部物理学科の川村康文教授による「地球環境問題の解決を考えるための科学実験」というテーマで、御自身が手掛けた自作の地球温暖化デモンストレーション実験器の開発の苦労話を、得意のギター演奏をまじえながら語った。講



演後は記念撮影をおこない、懇親会では親交を深め大いに盛り上がった。



支部だより



物理学校時代の卒業生が当時の様子を語り感激

《新潟支部》 支部長：上杉 肇(理数・数1980)
日 時：平成30年8月18日(土)
会 場：高陽荘

今年度は支部総会後に講演会を企画した。演題は「『見る』ことと『聞く』こと」で、講師は東京理科大学教授の石黒孝氏でした。見る角度や視点を変えたり、コントラストをつけることで微細な世界の三次元構造がわかること等の興味深い話を伺うことができた。その後の懇親会は、近況報告や思い出話に花が咲く楽しい会となった。特に、物理学校時代の卒業生という95歳の大先輩が出席され、当時の貴重な話をお聞きして感激した。来年度の支部総会は9月に新潟市で開催する予定です。



「心理が生み出す疑似科学」の講演を興味深く傾聴

《信州支部》 支部長：木下 昭一(理・応物1968)
日 時：平成30年10月14日(日)
会 場：アルピコプラザホテル

平成30年度信州支部総会は、来賓者を含め34名の出席者でした。例年通り物故者の黙とうから始まり、式次第に沿って進行了。平成29年度事業報告・会計報告および監査報告は全て承認された。大学と理窓会から、東京理科大学、理窓会の現状について、それぞれ説明があった。講演会は、信州大学の菊池聡教授から「心理が生み出す疑似科学～それは科学ではありません



ん～」と題した講演があった。懇親会では、乾杯のあと、出席者全員からの自己紹介や近況報告を交えながら歓談した。



「再生可能エネルギーについて」の講演

《静岡県遠州理窓会》 会長：小池 豊(理・物1972)
日時：平成30年8月25日(土)
会場：グランドホテル浜松

記念講演会では、「再生可能エネルギーについて」と題して、明星大学教授の吉澤秀治先生にご講演を頂いた。衆議院議員秘書をはじめ、一般聴講者なども訪れ、深い関心を持って聴講され、大好評を博した。総会では会長より、先に発生した7月西日本豪雨災害の犠牲者へのご冥福と被災者の一日も早い復興を祈念した。そして、前年度の活動内容並びに会計監査報告、役員改選などが全会一致で承認された。懇親会では、各地区の活動状況を知るとともに更なる親交を深めた。最後に全員で東京理科大学校歌を合唱するなど、活気ある和やかな会になった。



好評の2分スピーチで自己紹介

《富山支部》 支部長：滝本 恒平(理・数1977)
日 時：平成30年8月18日(土)
会 場：富山地鉄ホテル

支部総会では、吉本役員、橋本役員からそれぞれお話を頂き、「理科大学の現状や将来像、理窓会の活動がわかり、大変参考になった」との感想を頂いた。また、総会後の懇親会では、参加者はおひとり2分ずつのスピーチをした。「参加者の様子がわかってよい、とても好評なので、来年もしたらよい。」という意見を多数いただき、懇親を深めた。支部の今後の課題は、理窓会支部総会の参加者、特に若手の参加者を増やすことであり、こうよう会富山支部の皆さんとの連携を密に、協力を深めてゆく予定です。



多種多様な業種の方との交りは理窓会の財産

《静岡県中部理窓会》 会長：海野 俊彦(理・化1963)
日時：平成30年10月20日(土)
会場：静岡第一ホテル「浜邦」

本年度3月に卒業したばかりの方や、昭和28年卒業の大先輩、千葉県から泊まりがけで駆けつけた方などが参加し、卒業生の絆をより強く感じた会となった。懇親会では一人一人の自己紹介と近況報告を通じて和やかに過ごすことができた。多種多様な業種の方、20代から80代の年齢の方が交わることでできるのは、理窓会にとってのかけがえのない財産である。ほんのわずかな時間ではあるが、理科大を卒業したことに対する誇りと、これからの生活の活力を分けていただけたことに感謝の念が絶えない。



伊賀上野の語り部ツアーを開催

《三重支部》 支部長：立松 忠博(理・応数1971)
日 時：平成30年10月14日(日)
会 場：忍者博物館、伊賀上野城、上野高校など

三重支部の毎年恒例イベント企画では、いつも県内各地へ出かけます。今回は、伊賀上野での開催となった。関西連合の岡本公爾会長にもご参加賜り、秋晴れの中、人気の忍者ショーと美しいお城や天守、歴史ある上野高校をじっくり見学。昼はみんな伊賀牛を食べながら楽しく大いに盛り上がった。



より活発な支部活動に繋がることを期待して

《鳥取支部》 支部長：齋尾 宏伸(理・数1976)
日 時：平成30年8月18日(土)
会 場：倉吉シティホテル

昨年度に引き続き支部総会を開催した。大学の現状・理窓会活動報告の後、支部の会務報告・決算報告・事業計画案・予算案などについて協議した。特に今回は、支部役員で空席となっていた副支部長(2名)・監事(1名)を決定し、支部運営体制を組織できたことは大きな前進であった。来年度以降の支部総会参加者の増加や、より活発な支部活動に繋がることを期待したい。懇親会では、遠藤副支部長の開会の挨拶・乾杯で始まり、和気藹々とした雰囲気の中、活発な情報交換を行った。



2名の新しい仲間の参加で話が弾む

《愛媛支部》 支部長：井出 睦俊(理・物1969)
日 時：平成30年8月5日(日)
会 場：にぎたつ会館

最初に、支部長会・代議員会の報告で、「支部長会における理窓会名簿の取り扱いについて」などがあった。支部総会では、平成29年度支部事業報告・決算報告の承認、役員改選を行った。来年度の支部総会は8月11日(日)「にぎたつ会館」に決定した。東京理科大学の現状や、理窓会の現状のお話を伺った。こうよう会愛媛支部から2名の参加があった。アクシデントにより4名の者が急に出席できなくなったが、新しい仲間2名の参加があり、本部およびこうよう会より出席された方々とも話が弾み親睦を深めることができた。



大学トピックス

本学卒業生の宮崎豊和氏(理2部1986)が、自立する障害者や支援者を表彰する〈ありのまま自立大賞〉の自立奨励賞を受賞されました

社会福祉法人「ありのまま舎」(仙台市太白区)が、自立する障害者や支援者を表彰する第20回ありのまま自立大賞の授賞式が7月21日、仙台市青葉区であった。自立奨励賞に選ばれた難病の筋ジストロフィーを患いながら、障害者の音楽コンテストや就労拡大事業を手がけるNP〇法人代表理事の貝谷嘉洋氏と、幼少期から脳性マヒでありながらソフトウェア開発会社を設立し、福祉施設の事

- プロフィール
- 1962(昭和37)年1月5日 東京都調布市に生まれる。
 - 1982(昭和57)年 東京理科大学理学部2部数学科に入学。祝いに買って貰ったパソコンでプログラミングを学ぶ。大学2年時に情報処理2種を取得、大学3年時に公認会計士事務所の関係会社株式会社BOCと出会い同社でアルバイトを経験。4年時に自動車免許を取得。



務効率化のためのシステムなどを開発・販売する宮崎豊和氏の2人に表彰状が贈られた。宮崎さんは「多くの人の支えでここまで成長することができた」と語った。授賞式には、ありのまま舎総裁だった故三笠宮寛仁さまの次女で選考委員長の瑤子さまも出席された。

(河北新報記事2018.7.22より)

- 1986(昭和61)年 大学卒後、ソフト業界大手のCSK社に入社。配属先未定状況が続き、退社。株式会社BOCに転職する。
- 1993(平成5)年 約9年勤務したのち、株式会社BOC退職。自宅に有限会社ミヤエンジニアリング設立。
- 2005(平成17)年 脳性麻痺2次障害発症、横浜南共済病院で、頸椎固定手術を受け3ヶ月入院。一時期右手が使えなくなり、移動は車いすになる。

知的財産戦略を支援するプロ集団です



特許業務法人

太陽国際特許事務所®

□東京オフィス 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17 TEL 03-3357-5171 FAX 03-3357-5180
□横浜ランチ 神奈川県横浜市
□USオフィス Alexandria, VA U.S.A

<http://www.taiyo-nk.co.jp>

卒業生だより

さまざまな分野で活躍する理科大の卒業生たち。彼らの“今”を紹介します

Freshman
フレッシュマン



日本一の夢

大江 雄登（おおえ ゆうと）さん
千葉県船橋市立七林中学校教諭（理2部・数2018）

私は、平成30年3月に理学部第二部数学科を卒業し、同年4月より千葉県船橋市立七林中学校で教鞭をとっています。学生時代は、夜間部である理学部第二部に所属し、学業に全力で取り組みながらソフトボール部にも在籍し、活動を行っていました。野田キャンパスでソフトボール部の練習を行い、その後、授業のため神楽坂キャンパスに移動する生活を続けました。



部においては、部長という役職を任せていただき、学内における諸手続きや対外試合の申し込み責任者など、様々な仕事をさせていただきました。当時は、練習をしつつその仕事をこなすことで手一杯でした。こうして今、私自身が就職し教諭となったことは、監督の柳田信也先生（理工学部教養・准教授）は、授業や研究活動をはじめとした数多くの仕事をこなした上で部活動も指導してくださり、とても凄い方と同じ指導者の立場になって強く感じています。

学生時代のこれらすべての経験が、教員採用試験を一度で合格することができた原動力となっていると思います。

選手としての私は、投手をしており、手前味噌ではありますが、関東学生リーグ戦・I部において最優秀選手賞をいただき、その後、学内においても学長表彰をいただけるという活躍をしました。しかし、4年生最後の全日本大学選手権大会の舞台で、先発投手として登板することはできませんでした。教員採用試験と夏の練習が重なることが多く、満足な練習をすることができず、ライバルにマウンドを奪われたのでした。インカレというのは、その時その場所でしか味わえないもの、また教員採用試験は人生を左右するものです。その両方を勝ち取って、はじめて理科大ソフトボール部の模範となるものだと思います。勝ち取るための努力が足りなかったのが私のまだ甘いところだと、柳田監督に指導されたことを今でも覚えています。だからこそ、今現在でも

教員のチームでソフトボールを選手として続け、7月に行われた全国教員選手権では、チーム史上最高成績の準優勝を勝ち取ることができました。しかし、最後の一つが勝てなかったのは、まだまだ私自身甘いところがあるのでしょう。教員生活においては、教材研究や生徒指導、さらには部活動指導も行っておりますので、その上でソフトボールの選手を続けることは決して楽な道ではありません。しかし、理科大で、そしてソフトボール部で学んだことを糧にし、その困難に打ち克ち、来年こそは日本一を取れるよう頑張りたいと思います。



大江君のこと

柳田信也（理工学部教養・准教授）

大江雄登先生、全国教員大会準優勝、誠におめでとうございます。在学中から愚直なまでに克己鍛錬を続けた成果であると思います。入学してきたときは、本当に繊細（泣き虫!?!）で気の優しい学生でしたが、ソフトボールを通じて本当に強くなってくれたと思います。特に、部長として行った数々の主務としての作業は見事でした。教員採用試験1発合格、そしてソフトボールを継続、敬服しております。しかし、あと一歩の努力を忘れずに、日本一のロマンを持ち続けてください。



Freshman
フレッシュマン

製造現場から開発の仕事を学ぶ

大橋 春香（おおはし はるか）さん
シチズン時計株式会社（工・電2016）

私は今年の4月にシチズン時計株式会社に入社しました。もともと生体認証に興味があったことから電気工学科に入学し、大学4年生から

3年間、署名認証の研究を行っていました。また、修士1年生の時には、ドイツのオストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学でセンサを実装した歯ブラシによる歯磨き指導の研究に参加しました。これらの研究から老若男女問わず多くの人の生活に近いモノづくりがしたいと考えたことが時計会社を志望したきっかけでした。

入社後は、時計のムーブメント内の要素開発を行う部署に配属になりました。全体研修や店頭での販売実習、部署での研修を経験し、現在は長野県飯田市にある工場で製造現場実習をしています。長野県飯田市はりんごが名産の街で畑だけでなく工場内の植木や街路樹にもりんごが実っています。

現場実習では、時計の回路基板からムーブメント、完成品の製造ラインに入ってどのようにして造られているのかを勉強しています。実際に製造ラインで作業をしてみると多機能時計の回路基板など非常に小さいスペースに沢山の技術が詰まっていることを改めて実感しました。

まだ実習は続きますが、自分が将来関わる現場をたくさん知って一人前の技術者になれるように勉強を頑張ります。

Senior

シニア



太陽や月はあるのが当たり前で、注意深く見る人は案外少ない。その見かけの大きさがほとんど同じであることに気づく人も多くはない。太陽と月とどちらが大きい?と聞けば、子どもでも太陽と答える。ではなぜ同じ大きさに見えるのか。太陽は月の約400倍の直径だが、月より約400倍遠くにある。なので地球から見るとほぼ同じ大きさに見えるのだ。この400という数字に意味はなく、全くの偶然である。この偶然が作り出す現象が「日食」だ。

中高で毎日太陽黒点観測をしていた私は、理科大に入るとすぐ天文研究部に入部した。そこで一人の先輩がオーストラリアで起きる皆既日食に誘ってくれたのだ。この時に見た皆既日食の光景に衝撃を受けた。この世界にこんな美しいものがあつたのか!それ以来、日食と共に歩む人生を送ることになってしまった。

地球の周りを回る月の軌道が楕円なので、地球から見る月の大きさは刻々と変わる。月が大きく見える時に日食が起きると、太陽を完全に隠す皆既日食になる。月が小さく見える時に日食になると、月が太陽を隠しきれずに金環日食になる。これらの日食は、地球全体では2年で3回程度起きるが、見られる範囲が非常に狭いため、特定の一方所を考えるとめったに起きない現象になる。だから日食に出会うためには必然的に海外に出ることになる。私はこれまで、太陽の一部だけ欠けて見える部分日食は除き、36カ国・地域で47回の日食を経験してきた。2012年、日本

日食を追いかけて44年

大越 治（おおごえ おさむ）さん
元中学校理科教員、
国立天文台天文情報センター特別客員研究員（理・応物1977）

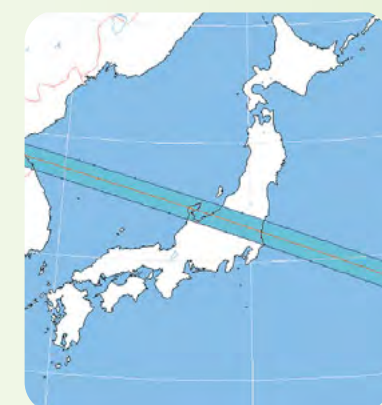
で見られた金環日食をご覧ください。なった方も多いただろう。

しかし、日食の醍醐味は何と言っても皆既日食だ。巨大な月の影が空を走り、地面や建物の壁にさざ波のような細い影がうごめく。太陽が完全に隠されると銀白色のコロナが輝き、暗い空には星が光る。

地平線は360度夕焼け色に染まる。例えようもなく美しい別世界だ。我を忘れて美しさに浸るのも良いが、科学的データを取るための苦労や工夫も、また格別の楽しさがある。

大学卒業後、私は公立中学校の理科教員になった。忙しさが話題になる教員をしながらこれだけの日食を観測できたのは、支えてくれた同僚や上司、教育委員会に恵まれたおかげだ。そして、観測のようすや成果を目を輝かせて聞いてくれる生徒たちがいたことが、何よりの励みになったことは言うまでもない。

学校を退職後、現在は三鷹にある国立天文台で天文普及の手伝いをさせていただいている。子どもたちより年配者を相手にすることが増えたが、それもまた楽しい。(ぜひ一度見学においで下さい。)



そんな中で今は、来年夏に南米チリで起きる皆既日食の準備で忙しい。日食との付き合いはこれからも続く。目標の一つは2035年に本州で見られる皆既日食を夫婦で元気に見ることである。

2035年9月2日、斜めに走る帯の中だけで皆既日食が見られる

東京理科大学学生専用寮 [神楽坂] TUSドミトリー I

2018年3月、神楽坂キャンパス初の大学専用寮が誕生しました。

■賃料69,000円～74,000円
■面積24.00㎡～25.60㎡
■神楽坂キャンパスまで徒歩2分!
■家具・家電が充実しております。



※別途管理費および、初期費用として入寮費・保証金・火災保険料等がかかります。

東京理科大学学生専用寮 [野田] TUSドミトリー II (新築)

■賃料54,000円～59,000円(予定) ■面積28.88㎡

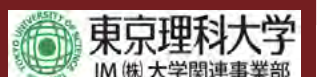


[野田] TUSドミトリー III
(家具・家電付き)

■賃料43,000円～45,000円(予定)
■面積21.29㎡～21.84㎡

2019年3月(予定)、野田キャンパスに新しいコミュニティが誕生します。

詳細は、お問い合わせください。【問合わせ先】東京理科大学IM(株)大学関連事業部
☎神楽坂TUSドミトリー I : 03(5225)2080 ☎野田TUSドミトリー II・III専用ダイヤル : 0120-141-430



薬学部は、「医薬分子をとおして人類の健康を守る」 薬物治療上の問題点を抽出・解析し、その改善策を構築して臨床に還元する

青山研究室

東京理科大学
薬学部 薬学科

青山 隆夫 教授 (薬・製薬1980)

- ・専攻分野：薬物治療学
- ・研究分野：医療薬学／臨床薬学／薬剤学

【研究室での活動】

1. 新規製剤の開発
2. 薬物相互作用の解明と回避方法の構築
3. 薬剤の適正 使用に関する研究



リスロマイシンを主薬として、耐性菌発現予防のためにリファンピシンとエタンブトールとの長期多剤併用療法が推奨されていますが、有効率は6～8割であり治療に難渋しています。そこで、医療機関と共同で、肺MAC症患者の血中MAC濃度を約2年間に渡りモニターした結果、治療開始後2週目から継続して初回投与時の半分以上の濃度であり、長期的な濃度低下が治療成績不良の原因の一つである可能性を示しました。

3. 薬剤の適正使用に関する研究

輸液ラインやフィルターなどの医療器具に吸着して必要量が投与されずに期待された効果が得られないことがあります。小児や新生児においては投与量が少ないため吸着の影響が大きくなることが予想されますが、有用なデータは存在せず、臨床では経験的な投与量設定が行われています。NICUの医師からの依頼でインスリンの吸着について検討した結果、患者にインスリンがほとんど投与されていないことが明らかとなり、提案した吸着回避方法を実施したところ良好な血糖コントロールが達成できました。



研究室ゼミ旅行(大阪城にて)

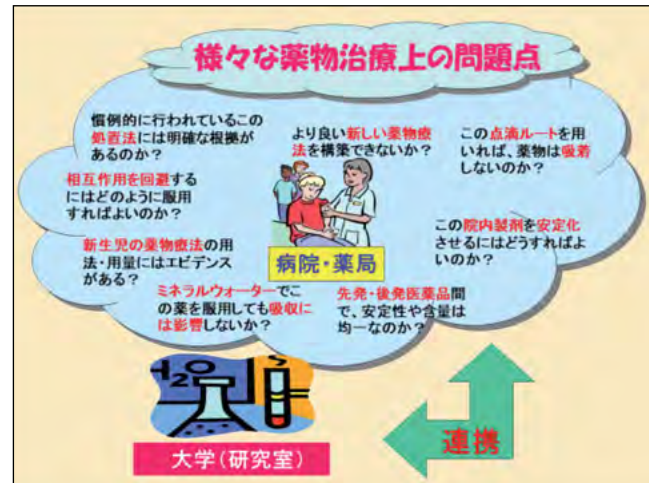
4. 研究室現況

現在のスタッフは26名で、内訳は、教授1名、助教1名、大学院生5名、学部生19名であり、卒業後の進路は、医療機関と製薬会社が大半を占めています。薬物治療は医療における最も有用な手段の一つであり、薬剤師はその有効性を最大限に引き出し、かつ安全性を確保するために、チーム医療スタッフの一員として、薬物治療における薬学的問題点を薬剤師の視点から抽出・解析し、解決方法を構築することは大切であり、その考え方と能力はどの職業に就いても生きてくると 생각합니다。

卒業生
コメント

宮下 歩 虎の門病院薬剤部薬剤師
(薬・薬科2018)

青山研究室ではアスピリンの抗血小板作用に対する併用薬の影響についての研究を行いました。複数の薬剤を検討するために計画を立てたり、実務実習先で薬剤師に研究内容に関して臨床現場での印象を伺ったりと実臨床を意識しながら研究を進めていました。テーマを見つけ、論文をもとに実験結果を考察する思考力は、現在の病院薬剤師の業務に活かされていると感じています。



1. 新規製剤の開発(使用するのに最適な形に整える)

製剤とは、患者に適した新規剤型(液体、クリーム、錠剤、ゲル等)への変更を臨床での必要性に対応して、薬剤を調製する業務であり、薬剤師の知識・技能を生かした貴重な職能と言えます。物性試験、安定性試験などから製剤処方決定し、動物実験により体内薬物動態や効果および安全性を確認した上で臨床試験に進みます。

2. 薬物相互作用の解明と回避方法の確立

超高齢化社会を迎え、一人の患者が複数の疾患を罹患して複数の薬剤を用いることが多くなっています。それに伴い製薬会社が医薬品開発で想定する以外の薬剤やサプリメント、食品との組み合わせでの相互作用により、効果の減弱、副作用発現などの危険性は増しています。そこで、臨床で問題となりうる組み合わせについて、血液を使ったin vitro実験や動物でのin vivo実験、および 臨床試験により相互作用の有無や強度について検討し、相互作用を回避する用法・用量、服用時期を提案します。

a) アスピリンの抗血小板作用に対する併用薬の影響

非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)を併用するとアスピリンの結合を阻害して抗血小板作用を減弱することが予想されます。そこで、各種NSAIDsによる影響についてヒト多血小板血漿を用いた併用添加実験、ラットへの経口投与と実験により検討した結果、多くの場合にアスピリンを先に投与すれば相互作用を回避できることがわかりました。

b) 肺MAC(Mycobacterium avium complex)症治療薬における薬物相互作用

非結核性抗酸菌症の約80%を占める肺MAC症は、クラ

次世代医薬として期待される核酸医薬を 有機化学的手法により創製する

和田研究室

東京理科大学
薬学部 生命創薬科学科

和田 猛 教授 (理・応化1986)

- ・専攻分野：有機化学
- ・研究分野：核酸化学／糖化学／ペプチド化学

2018年日本核酸医薬学会学会賞受賞

【研究紹介】 低分子医薬、抗体医薬につづく次世代の医薬として期待される核酸医薬を有機化学的手法により創製する研究を行っています。



3. 分子認識能を有する人工オリゴ糖の合成と医薬への応用

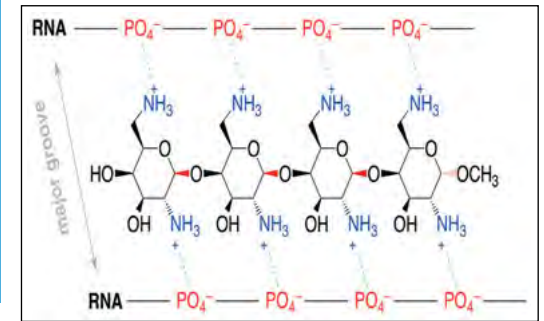


図2.二本鎖RNAに結合する人工オリゴ糖

核酸医薬の効率的な^{*}2DDS構築を目指し、二重鎖RNAのメジャーグループに選択的に結合してRNAを安定化する、新しい構造と機能を有する人工オリゴ糖の合成を行っています。
^{*}2 ドラッグデリバリーシステム

ベンチャー企業設立

私たちの研究室では、世界に先駆けてリン原子の立体化学を制御したリン原子修飾核酸医薬の合成手法を確立し、その基盤技術を基にベンチャー企業(Wave Life Sciences)が設立され、米国NASDAQにも上場し核酸医薬の臨床開発研究を推進しています。2018年1月にWave社の寄附講座(核酸創薬化学講座)が薬学部内に設置され、新たな共同研究が開始されました。

研究室現況

現在のメンバーは23名で内訳は教授1名、助教1名、秘書1名、博士2名、大学院生10名、学部生8名であり、卒業後の進路は、製薬メーカーだけでなく化学メーカーにも就職しており、幅広い業種で社会に出て活躍しています。



卒業生
コメント

齋藤 竜也 住友化学株式会社
(薬・創薬2015／薬研・薬科2017)

和田研究室ではボラン修飾型DNAの立体選択的の合成に取り組みました。モノマーの開発、オリゴマー合成、オリゴマーの分解酵素耐性や熱力学的安定性評価まで担当し、有機合成化学、核酸固相合成化学や生物学、物理化学など多方面から研究にアプローチすることで、大変実力がついたと感じています。これらの知識は現在の職場において大きな武器となっています。

核酸医薬とは

現在市販されている医薬品の多くは、体の中にある特定のタンパク質と結合することにより薬としての効果を発揮しますが、私たちが開発している核酸分子からなる新しい医薬(核酸医薬)は、病気の原因となるタンパク質に直接作用するのではなく、タンパク質の設計図にあたるDNAやmRNAに結合することによって、**病気の原因となるタンパク質そのものの合成を阻害します。**

核酸は、相補的な塩基配列をもつ鎖同士が塩基対を形成することにより、二本鎖を形成します。この性質を利用して、mRNAの一部分に結合する人工核酸を設計し、二本鎖を形成させることによって病気の原因となるタンパク質の合成を阻害するのです。しかし、天然の核酸分子は、生体内で^{*}1ヌクレアーゼと呼ばれる核酸分解酵素によって速やかに分解されてしまうため、安定化するための工夫が必須となります。
^{*}1 核酸分解酵素の総称

研究テーマ

1. リン原子修飾核酸の立体選択的の合成と医薬への応用

疾病関連遺伝子の発現を効果的に抑制するアンチセンス核酸やsiRNAなどの核酸医薬の合成を行っています。特に、リン原子の立体化学が厳密に制御されたリン原子修飾核酸医薬の開発に力を入れています。新しい反応や化合物のデザインには、計算科学を積極的に取り入れ、理論的なアプローチも行っています。

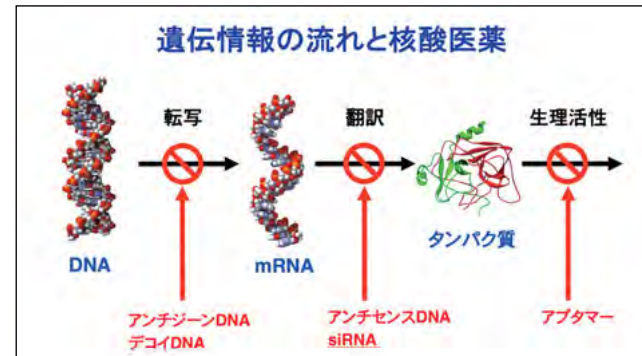


図1.生体内で働く様々な核酸医薬

2. 核酸結合性人工ペプチドの合成とDDSへの応用

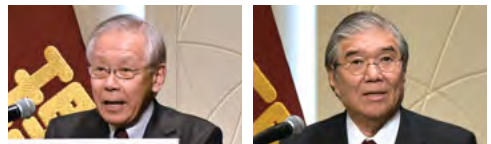
二重鎖RNAに選択的に結合して**RNAを安定化し、核酸医薬のDDSに応用可能な新規カチオン性人工ペプチド**の合成を行っています。また、二重鎖DNAに塩基配列特異的に結合し、転写の過程を阻害する新しいアンチジーン分子(ペプチド核酸)の開発を行っています。



TUS FORUM 2018 東京理科大学の研究戦略 水と宇宙の最新研究(10/29・開催報告)



10月29日(月)にホテルメトロポリタンエドモント(東京都千代田区)で、「TUSフォーラム2018」が開催されました。フォーラム冒頭に、松本洋一郎学長が「大学の発展には連携が肝心であり、連携先は大学や研究機関だけでなく、



挨拶された松本洋一郎学長と本山和夫理事長

産業界との連携が重要であり、産業界から厳しくも温かい目でみてほしい」と挨拶し、2031年の150周年に向けての研究戦略と、文部省私立大学ブランディング事業に採択されたウォーターフロンティアSci.&Tech.研究センターとスペース・コロニー研究センターの最新研究が紹介されました。

【ウォーターフロンティアSci.&Tech.研究センター】

後半は、本山和夫理事長が、「世界の理科大を目指すべく研究成果発信の場として本フォーラムを開催し、社会の要請に応えられる大学としたい」と述べられた。また、石原安野准教授(千葉大学)、新井史人教授(名古屋大学)から研究成果をお話いただくとともに、国の科学技術基本計画を推進するための幅広い事業を実施している科学技術振興機構(JST)の渡辺美代子副理事から、わが国の科学技術発展のための多様性の重要性についてご講演をいただきました。

【スペース・コロニー研究センター】

水の特殊な構造や機能をナノ、ミクロ、マクロスケールで明らかにし、その知見を基に、省エネルギーに貢献する低摩擦・低摩耗表面材料や、再生医療に資する生体適合性の高い機能性材料の創出などを目指しています。

宇宙に長期滞在するための、水・空気の再生、食料栽培、創・蓄エネルギー等の研究を行っています。また、将来、地球環境が悪化した際、これらの研究成果を応用することで、災害に強い住宅や食料問題など人類の未来を守ることにもつながります。

後半は、本山和夫理事長が、「世界の理科大を目指すべく研究成果発信の場として本フォーラムを開催し、社会の要請に応えられる大学としたい」と述べられた。また、石原安野准教授(千葉大学)、新井史人教授(名古屋大学)から研究成果をお話いただくとともに、国の科学技術基本計画を推進するための幅広い事業を実施している科学技術振興機構(JST)の渡辺美代子副理事から、わが国の科学技術発展のための多様性の重要性についてご講演をいただきました。



東京理科大学の研究戦略

高柳英明 ▶東京理科大学特任副学長/研究推進機構 総合研究院長



ウォーターフロンティアSci.&Tech.研究センターの研究戦略

由井宏治 ▶ウォーターフロンティアSci.&Tech.研究センター長/東京理科大学理学部第一部化学科教授



ウォーターフロンティアSci.&Tech.研究センターの研究成果

本間芳和 ▶ウォーターフロンティアSci.&Tech.研究副センター長/東京理科大学理学部第一部物理学科教授



スペース・コロニー研究センターの研究戦略

向井千秋 ▶東京理科大学特任副学長/スペース・コロニー研究センター長



スペース・コロニー研究センターの研究成果・計画

木村真一 ▶スペース・コロニー研究センター副センター長/東京理科大学理工学部電気電子情報工学科教授

招待講演及び特別講演



招待講演 ニュートリノで見る深宇宙

石原安野 ▶千葉大学 グローバルプロミネント研究基幹 准教授 (2018東京理科大学物理学園賞受賞)



招待講演 生体に学ぶ機械システムの革新

新井史人 ▶名古屋大学 未来社会創造機構 教授 (2018東京理科大学物理学園賞受賞)



特別講演 科学技術発展のための多様性推進

渡辺美代子 ▶国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)副理事

東京理科大学のルーツを求めて 【東京物理学校 前夜編 ③】 ～東京物理学校の最大の支援者である山川健次郎氏～

東京理科大学 維持会会長 森野 義男(理・化1978)

今回は、物理学校の支援者である山川健次郎氏について触れる。

山川健次郎は1854年に会津藩家老職の家で生まれ、会津藩独自の教えである什の掟などを9歳までに身に付けた。さらに日新館での勉学を通じて、誇りある会津武士の子供として育った。1868年1月の鳥羽・伏見の戦いで旧幕府軍となっ



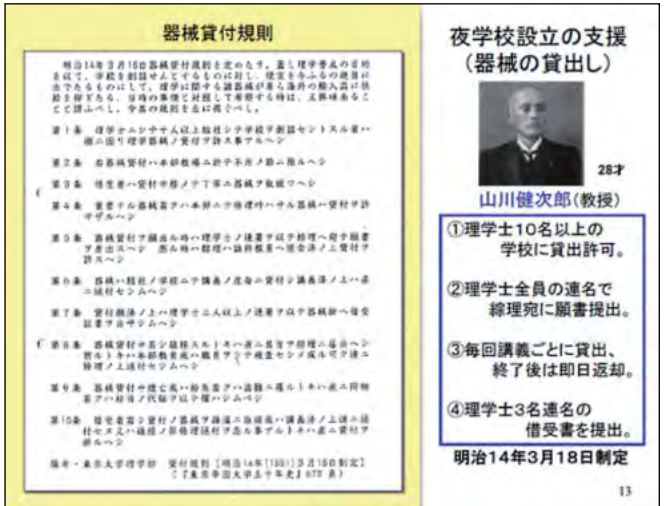
た会津藩と、薩長同盟がきっかけとなり、討幕運動に挺身した薩摩藩・長州藩と激突したが、会津藩は無惨にも敗走し、朝廷の敵の烙印を押されることになった。その後、山川は祖父の命令により、江戸を脱走して会津に来た旧幕臣で、フランス軍事顧問団から訓練を受けた隊士からフランス語を学んだ。この学習により鳥羽・伏見の戦いにおける幕府軍の敗戦は、完全に洋式化された薩長勢の装備と戦術の優秀性であることを山川に強く印象づけることになり、フランス語の習得に必要性を感じた。1868年4月の会津戦争で会津藩は敗戦し、山川たち会津藩士は近隣の村に謹慎となった。

その後山川は戊辰戦争で会津藩と敵対した長州人とその同士の庇護のもと、激動の時代に踏み出すことになる。長州藩などに書生として身柄を預けられた。1870年春、会津藩が陸奥国斗南藩としてお家再興となり、東京に設立した斗南藩校に進んだ。その後、土佐藩邸の私塾に居候し、本格的にフランス語、英語、数学を学んだ。

1870年、北海道開拓次官は、国費留学生の派遣を決めるにあたり、北海道の寒さに耐えうる子弟を探していた。斗南藩に派遣の要請をした。斗南藩の首脳たちは、苦難の道を歩みながらも勉強を続け、語学力を高めた山川を抜擢した。1871年元旦、山川は横浜港から汽船ジャパン号に乗船、太平洋を横断してアメリカに上陸した。山川は単身で日本人のいないノールウィッチという街の中学校で基礎学力の習得に努めた。ここでイギリスの哲学者ハーバート・スペンサーの書物との出会いが、山川に大きな影響を与えた。山川は「日本を繁栄させるには、政治をよくしなければならない。政治をよくするには社会をよくしなければならない。社会をよくするには社会学の研究が必要である。社会学の研究には生物学並びにその他自然科学の研究が必要である。特に富国強兵のためには物理・化学が盛んにならなければならない。」と考え、物理学を学ぶことを決意したのである。

1872年夏、山川はエール大学の理学校を経て、念願のエール大学に入学し、先進の物理学の学習に取り組み、研さんを積んだ。この頃、日本国内では、留学生の怠惰な生活ぶりが問題となり、日本政府は1874年に成績がきわめて優秀な留学生を残し、あとの者たちには帰国命令を出した。国費留学生である山川にも帰国命令が出て、学費の給付を停止され、学業を続けることが不可能となってしまった。会津藩を背負って留学している以上、学業半ばで帰国するわけにはいかない。山川はクラスメイトに経済的困苦を訴え、同級生の叔母のハンドマン夫人が「学業成就して本国に帰りたい後は、力の限り本国のため尽力をすること」を条件に学費を援助した。山川はハンドマン夫人の誓約を守り、一層の勉学に精魂込めて励んだ。

1875年、山川はエール大学で物理学の基礎を学び学位を得て帰国し、翌1876年1月には東京開成学校の教授補となり教壇に立った。1877年4月、山川は、東京開成学校の改組に伴い東京大学理学部教授補となった。実験器具の整備や学生の指導等、物理学教育の基礎に情熱を傾けた。日本に科学を根付かせようと尽力をするとともに、新しい学問・教育の場所と内容を創りあげようと模索していた。



1879年4月、山川は東京大学理学部教授に昇進し、日本で初めての物理学講座の教授となった。時期を前後して理学部物理学科から、後の東京物理学校の創設者となる者が次々卒業して、国家の発展をめざし世の中に羽ばたいていった。1881年3月、山川は理学部物理学科の卒業生たちが、理学普及のために物理学校を創ろうとしていることを知った。物理学を教えるためには様々な実験機器が必要不可欠であったが、彼らにはそれを調達する術がなく途方に暮れていた。このことを知った山川は東京大学理学部総理の加藤弘之に談判し、加藤総理の許可を取り付けた。機器貸出規則を作り、理学部物理学科の実験機器を貸し出すことができるように手はずを整え、彼らを後押しした。日本で最初の理学を教える私立夜学校は、東京大学理学部物理学科出身の若き卒業生たちの情熱と、それに心を動かされた山川健次郎の協力、支援により誕生するのである。

紫外線やまぶしさから眼を守る！

長時間、眼を紫外線にさらしていると、眼病リスクが高まります。眼に入る光を自動的に調節することで、目の疲れ、ストレスを抑えます。



メガネで出来る健康生活

メガネドラッグ

近隣店舗はこちらから
<http://www.meganedrug.com/>



2019 謹賀新年

本年もよろしくお願いいたします。

学校法人東京理科大学 理事長 本山 和夫 (理工・経72)	東京理科大学 学長 松本 洋一郎	東京理科大学維持会 会長 森野 義男 (理・化78)
理窓会会長 増淵 忠行 (理・物68)	理窓会 名誉会長 塚本 桓世 (理・応物65)	理窓会 顧問 山田 義幸 (理・化54)
理窓博士会 会長 秋山 仁 (理・応数74)		

理窓会〔東京理科大学校友会〕		
会長 増淵 忠行 (理・物68)		
副会長 坂本 功 (理・数66)	橋本 巖 (理・物69)	矢部 博 (理・応数77)
山本 幸央 (理工・経工77)	小林 秀至 (理工・電79)	
常務委員 大岩 昭之 (工・建68)	小嶋 延吉 (理・数70)	松原 秀成 (理・物70)
廣瀬 和昭 (理・数73)	岡本 公爾 (工・工化73)	加賀谷秀樹 (理工・物73)
近藤 明 (工・工化73)	山崎 晃弘 (理工・建76)	昌子久仁子 (薬・製薬77)
西川 英一 (工・電81)	兵庫 明 (理工・電84)	上村 直樹 (薬・製薬86)
梅原たまき (理・応数89)	樽谷 隆 (理・化89)	佐竹 信一 (理工・機90)
松田 一朗 (理工・電91)		
監査委員 藤井 浩 (工・機69)	富岡 康夫 (理・化73)	

東京理科大学 理学部第一部
学部長 築山光一 副学部長 三浦和彦
教養主任 輒 達也 数学科主任 木田雅成 物理学主任 満田節生 化学科主任 田所 誠 応用数学科主任 橋口博樹 応用物理学主任 遠山貴巳 応用化学科主任 根岸雄一

東京理科大学 工学部
学部長 倉淵 隆 副学部長 池口 徹
教養主任 本田 宏隆 建築学科主任 長井 達夫 工業化学科主任 近藤 行成 電気工学科主任 長谷川幹雄 経営工学科主任 谷口 行信 情報工学科主任 小林 宏 機械工学科主任

東京理科大学	
理工学部	
学 部 長	井手本 康
副学部長	伊藤 浩行
”	大宮 喜文
教 養 主任	柏崎敏義
数 学 科 主任	廣瀬 進
物理学科 主任	齋藤晃一
情報科学科 主任	滝本宗宏
応用生物科学科 主任	鎌倉高志
建築学科 主任	伊藤香織
先端化学科 主任	酒井秀樹
電気電子情報科学科 主任	樺田洋太郎
経営工学科 主任	西山裕之
機械工学科 主任	萩原慎二
土木工学科 主任	塚本良道
共に響き合う理工学部へ。	
RESONANCE	

謹賀新年 東京理科大学 基礎工学部
学部長 向後保雄 電子応用工学科主任 佐竹信一 材料工学科主任 曾我公平 生物工学科主任 堀戸重臣 長万部教養部長 竹内 謙

東京理科大学 薬学部・薬学研究科
学部長・研究科長 宮崎 智 薬学科主任 花輪剛久 生命創薬科学科主任 和田 猛

東京理科大学 経営学部・経営学研究科
学部長・研究科長 武藤滋夫 経営学科主任 大沼 宏 ビジネスエコノミクス学科・経営学専攻主任 施 建明 技術経営専攻主任 若林秀樹

東京理科大学 理学部第二部
学部長 佐々木健夫 数学科主任 宮岡悦良 物理学主任 辻川信二 化学科主任 山田康洋 教養主任 菊池 靖

東京理科大学 工学部第二部
学部長 河野 守 建築学科主任 今本啓一 電気工学科主任 西川英一 経営工学科主任 宮部博史

東京理科大学 オープンカレッジ 事務局
社会人教育センター長 中谷幸俊
「社会人教育・リカレント教育拠点」 として ビジネス講座・一般教養講座を 多数開講しています。
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-10-1 セントラルプラザ2階 TEL 03-5227-6268(平日9:00~17:00) FAX 03-5227-6263 URL https://web.my-class.jp/manabi-tus/

理窓会 埼玉支部
支部長 長澤 智則 (理・化72) 副支部長 松井 辰男 (理・化66) ” 齊藤 進 (理・物69) ” 小嶋 延吉 (理・数70) ” 小林実喜夫 (理・化71) ” 中埜 正一 (理工・電71) ” 金子 聰 (理・物64) ” 本多 昇 (理工・工化78)

理窓会 福井支部
支部長 山下秀雄 (理・物72) 代議員 末本 守 (理工・物76) 事務局 荒井広臣 (理・応数85) H P 小林明男 (理・化75) 会 計 古市恭也 (理工・建修95)

理窓会 愛知支部
支部長 二村菊久 代議員 天野 卓

理窓会 鳥取支部
支部長 齋尾宏伸 (理・数76)

理窓会 参与 田中 理房 (理・数65)

理窓会 岩手支部
支部会員一同

理窓会 宮城支部
支部長 加賀谷秀樹 幹事・監査役・会員一同

理窓会 新潟支部
支部長 上杉 肇

理窓会 千葉支部
支部長 杉浦 雅美 (理・応化74) 副支部長 田村 清志 (理工・数79) ” 阿部 隆之 (理・応物80) ” 吉田 義克 (理・数84) 相談役 眞田 孝則 (理・化75) 顧 問 鯉淵 武敏 (理・化52) ” 増田 重衛 (理・物61) ” 水野 澄 (理・数65) ” 小倉 正敬 (理・物69)

理窓会 静岡支部
支 部 長 松原龍一 (理・物75) 代 議 員 大野幸人 (理・化73) 東部会長 石井裕基 (理工・化76) 中部会長 海野俊彦 (理・化80) 遠州会長 小池 豊 (理・物78)

理窓会 三重支部
支部長 立松忠博

理窓会 広島支部
支部長 場田克己 副支部長 和泉知示

理窓会 北海道支部
支部会員一同

理窓会 秋田支部
支部長 奈良伯夫 (理・応物66)

理窓会 茨城支部
支部長 山極 時生 (理工・電71) 副支部長 水戸 佐藤孝二 (理工・物82) 県南 菊池和之 (理工・数76) 県西 皆見 操 (理・応物77) 県北 三村 靖 (理工・電82) H P 森尾修一 (理・応物70) 会計 西村隆浩 (理工・物99)

理窓会 富山支部
支部長 滝本恒平 (理・数66) 代議員 高田正得 (理・応物70) 会 計 中島範行 (薬・製薬84)

理窓会 東京支部
支部長 植木キク子 (理・物61) 副支部長 島崎 益男 (工・機70) ” 半谷精一郎 (工・電75) ” 廣瀬 和昭 (理・数73) 相談役 松原 秀成 (理・物70)

理窓会 滋賀支部
支部長 横山成紀 (理・応物67) 代議員 山田脩治 (工・建71) 事務局 中村直樹 (理工・物78)

理窓会 兵庫支部
支部長 宮宅勇二 (理工・建76) 代議員 上杉秀樹 (理・数86)

理窓会 山口支部
支部長 福永健一 副支部長 平川芳孝 幹 事 深井保司 ” 梶井浩志

理窓会 青森支部
支部長 阿保民博 (理工・物73) 代議員 藤原広洋 (理工・工化71) 副支部長 石崎聖一 (理工・電73) ” 工藤真紀夫 (理工・数74) ” 角 弘幸 (理工・数81)

理窓会 栃木支部
支部会員一同

理窓会 群馬支部

理窓会 山梨支部
支部長 奥村 一利 (工・建78) 代議員 橘田多喜夫 (理・物78) 事務局長 窪田 敏章 (理・化84)

理窓会 神奈川支部
支部長 山下 庫太 (理工・物71) 副支部長 細川 秀夫 (理・化76) ” 大嶋 啓子 (理・数74) ” 平田 治夫 (理・数77) ” 樽谷 隆 (理・化89)

理窓会 信州支部
支部長 木下昭一 (理・応物75)

理窓会 岐阜支部
支部長 松田正英

理窓会 奈良支部
顧 問 阿部治男 支部長 森西耕一郎 代議員 駒井 彰

理窓会 高知支部
支部長 和田雅史 (理工・建81) 代議員 刈谷 聡 (理工・電82)

本年もよろしくお願いいいたします。

理窓会 京都支部

支 部 長 藤森 廣幸(薬・製薬72)
副支部長 稲見 國男(理・応化70)
副支部長 谷岡 秀幸(理工・数75)
代 議 員 小西 敏治(工・経71)

理窓会 大阪支部

支部長 秋山 茂夫(理・応物72)
代議員 萩野 隆司(理工・建82)
幹 事 今泉 浩(理・数65)
幹 事 中江 康男(工・電70)
幹 事 駒井 幹彦(工・電70)
幹 事 安部 清行(理・応物72)
幹 事 蒔田 司郎(理・数79)

理窓会 和歌山支部

支部長 谷井 一好(理工・土84)
代議員 栗山 哲也(工・建76)
評議員 岡本 公爾(工・工化73)

理窓会 岡山支部

顧 問 赤木 寛(理・物57)
顧 問 川上 洋一(理・数65)
支 部 長 三浦 康男(理工・数71)
副支部長 清水 男(理工・工化75)

理窓会 長崎支部

支部長 井手 義道(理・物88)

理窓会 大分支部

支部長 開 憲明(理・数65)
代議員 松崎 忠央(薬・製薬75)

理窓会 宮崎支部

支部長 坂元 一貴(薬・薬81)

理窓会 沖縄支部

支部長 仲里 恒雄
代議員 岩切 喜一郎
事務局 名嘉 正光

東京理科大学 同窓経営者会

会 長 本山 和夫(理工・経72)
副会長 中谷 幸俊(工・経71)
幹 事 梶原 巡(理・応物78)
幹 事 林 良祐(理・応物87)
幹 事 古矢 元一(理工・応生82)
会計監査 渡辺 通春(理・応物71)

関西理窓会連合会

会 長 岡本 公爾(工・工化73)
副会長 秋山 茂夫(理・応物72)
顧 問 柴田 真一(理・化60)
顧 問 関川 正文(理・化60)

薬学部同窓会

会 長 上村 直樹(86)
副会長 関 裕史(81)
副会長 磯部総一郎(85)
副会長 伊集院一成(88)
副会長 内村 兼一(93)

からくり会

年代等の垣根を超えた情報交流会
「あゆの会」「理翔会」を経て
平成18年に結成しました。
毎月第一木曜日、年10回以上の
例会(トークライブ)を開催。
詳細は下記HPをご覧ください。
<http://risoukai.com/karakuri/>

理窓ビジネス同友会

会 長 山本 幸央(理工・経77)
副会長 島崎 益男(工・機70) 森野 義男(理・化78) 浅子 弘美(理・応数82) 樽谷 隆(理・化89)
理 事 福田 義克(工・建68) 秋山 仁(理・応数69) 本山 和夫(理工・経72) 大久 保理(理・応物72)
宮川 公治(工・経73) 三浦 善司(工・経73) 岡本 公爾(工・工化73) 酒井 陽太(工・経74)
望月 克巳(理工・応生83) 露木 聡(理工・電87) 滝沢 直樹(理工・経94) 岡本 麻代(理・化95)
坂本 哲志(理工・情95) 追矢 修司(経・経97) 尾崎 健介(工・経01) 増田 庸司(経・経01)
理事兼事務局 菅原 寛子(MOT2018) 監 査 石田 正夫(理工・経72) 安田 裕昭(理工・経80)
事務局 〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂7F (<http://kigyou.risou.net/>)

理窓技術士会

会長 山極 時生(理工・電71)
会員一同

理窓亀の子会

小池 茂年 松野 直
加納 誠 西尾 太郎

理窓ヨット倶楽部

会長 大熊 清二(工・建72)

開基と憩いの場 理窓棋院

会長 今泉 精一(工・建68)
事務局 shimizu-keiji@55.netyou.jp

ワンダーフォーゲル部 OB会

東京理科大学バスケット部 OB・OG会

築 理 会

会長 大岩 昭之(工・建68)

事務局理窓会

会長 小林 秀至(理工・電79)
幹事・監査役・会員・同窓事務職員一同

結成20年目 理窓美術同好会

東京理科大学 理窓教育会

会 長 富岡 康夫(理・物73)
参 与 磯脇 一男(理・数64) 酒匂 昭男(理・化55) 伊藤 操(理・物61) 坂本 功(理・数66)
理 事 小野 具彦(理・化67) 會田 良三(理・化68) 小久保正己(理・数69) 澁谷 重雄(理・数69)
松原 秀成(理・物70) 齋藤 常男(理・物71) 榎本 成己(理・応物71) 長谷川 純一(理・物73)
廣瀬 和昭(理・数73) 菅井 悟(理・物73) 小岩 利夫(理・物75) 高橋 伯也(理・数74)
田中 均(理・数76) 並木 正(理・物80) 小林 博(理工・機77) 竹村 精治(理・応数76)
吉川 知己(理・化81) 中村 信雄(理工・応生80)

東京理科大学 少林寺拳法部OB会

幹事長 高木 俊知(野田工・電70)

I部体育局ハンドボール部OB会 理窓会関連団体 神楽坂会

会長 猪村 彰(工・建75)

明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願ひします

東京理科大学 こうよう会 (父母会)

会 長 木内 晴一

東京理科大学 数学教育研究会

会 長 池田 文男(理・数73)
副会長 増田 律子(理工・数77)
副会長 下条 隆史(理・数78)
副会長 楨 誠司(理工・数81)
副会長 今井 寛人(理・数75)
副会長 眞田 克典(理・数81)
事務局長 清水 克彦(理学部教授)
事務局次長 伊藤 稔(理工・数79)

平成30年8月開催されました
第100回
全国算数・数学教育研究(東京)大会への
ご支援ありがとうございました。

謹賀新年

東京理科大学 インベストメント・ マネジメント株式会社

代表取締役社長 片寄 裕市

◇
起業相談・ベンチャー支援・
技術指導等を行っています。

〒162-0825
東京都新宿区神楽坂1丁目3番地
TEL 03(5225)2080
<http://tusim.co.jp>

東京理科大学柔道部OB会 R 鵜志会

会 長 望月 哲夫(理・物71)
副会長 柳川 昌徳(理工・建74)
副会長 入澤 利明(理工・応物75)
副会長 久保 正典(数78)
会計監査 三浦 拓夫(薬70)
東京理科大学I部体育局柔道部
神楽坂顧問 佐々木健夫(理・化学科教授)
野田顧問 明石 重男(理工・情報科学科教授)
師 範 金子 邦男(理科大学元職員)
総監督 涌井 利秋(理工・建75)
監 督 藤巻 敏光(理工・物75)

ビル設備のリフォームファクトリー 梶原電工株式会社

代表取締役 梶原 芳浩(工・経76)

理窓スマッシュ会

(II部ソフトテニス部OB会)
会長 常見 達弘(理・化2・91)

東京理科大学 混声合唱団OB会

会長 濱埜 克巳

鹿島理窓会

(鹿島建設株式会社東京建築支店)

理窓会 高砂熱学支部

支部長 三田 暢博

朝日化学工業株式会社

岡本 公爾(工・工化73)

学校法人 京華学園

文京区白山5-6-6
常務理事 小林 直樹(理・化70)

竹中工務店 (竹中理窓会)

アスカ工業株式会社

社長 天野 卓(理工・工化79)
〒444-0303 愛知県西尾市中畑町卯新田上28

可能性を創り続ける…

2019年、ダイニックは、
おかげさまで総業100周年を迎えます。



株式会社
ダイニック

東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル
Tel.03-5402-1811
顧問 坂部 三司(経営工学科74)
ダイニックホームページ…<http://www.dynic.co.jp>

株式会社TUSダイニング

代表取締役 須藤 明弘

----- 同窓会・学会等のパーティー・弁当承ります -----

神楽坂キャンパス ☎03-3267-9651 ☒order-kagurazaka@tus-dining.co.jp
理窓会倶楽部 ☎03-3269-1570 ☒order-kagurazaka@tus-dining.co.jp
葛 飾キャンパス ☎03-5699-2831 ☒order-katsushika@tus-dining.co.jp
野 田キャンパス ☎04-7125-2431 ☒order-noda@tus-dining.co.jp

東京シリコン株式会社 株式会社 フロロコート 株式会社 トシコ

川越、名古屋、岡山、新潟、岐阜

代表取締役社長 諏訪部充弘(経・経00)
取締役研究所長 後閑 昭男(理・化76)
名古屋常務取締役 藤野 寛一(工・工化76)



賀正

鬼武 みゆき
(理・数87)

コンポーザー&ピアニスト
<http://www.onitake.com>



御慶

桂 歌助
(理・数87)

<http://utasuke.com>



迎春

祥子
(理・数90)

<http://www.shoko-crossmusic.com/>

本誌『理窓』重要なお知らせ

2019.5月号は、理窓500号の記念号となります。明治22年4月東京物理学校同窓会が発足し、6月に東京物理学校同窓会雑誌1号が発刊されて以来色々な歴史の変遷を経て500号にまで至ることが出来ました。歴代の編集委員会の努力と会員の皆様にご愛読頂いた賜物です。『理窓』へのご意見、ご希望、感想等を理窓会事務局にお送り頂けると幸いです。理窓編集方針に反映致し次の600号発行まで継続して行きたいと考えております。

理窓発送条件変更のお知らせ

理窓会は『理科大today』と新『理窓』をここ約13年間住所の判明している卒業生の皆さま全員(約12万人)と現役学生(約17000人)に送付してまいりました。その目的は大学と理窓会の最新情報のお知らせ、また理窓会の活性化と卒業生の連携強化です。皆様には冊子『理窓』の価値を十分で認識頂いたと考えています。更に理窓会HP機能の充実、そしてこの度理窓会の予算管理面での見直しにより、発送条件を以下の様に変更致しますので宜しくご理解下さる様お願い致します。

①会費納入者は年3回(1月5月9月) ②会費未納者は9月号のみ ③在学生は年3回(1月5月9月)

理窓会HomePageのお知らせ

HPで理窓(過去冊子含む)の閲覧が可能となっており、更に東京理科大学情報、理窓会、関連団体、各全国の支部情報がご覧になれます。

• Homepage <http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp> • facebook <https://facebook.com/risoukai.tus/>
• 理窓会事務局 E-mail: risoukai@alumni.tus.ac.jp

2019年5月～2020年3月 理窓会主要行事予定

理窓会支部長会	2019/ 6/23(日)	神楽坂キャンパス
理窓会代議員総会		
第14回 東京理科大学ホームカミングデー	2019/10/27(日)	神楽坂キャンパス
第11回 坊っちゃん科学賞発表会		

2019年5月～2020年3月 理窓会支部行事予定

岡山支部	2019/ 5/12(日) 14:00～18:00	ピュアリティまきび
東京支部	2019/ 5/26(日) 13:30～18:30	神楽坂キャンパス1号館 17階記念講堂及び大会議室
埼玉支部	2019/ 6/30(日) 14:00～	ウェスタ川越
神奈川支部	2019/ 7/27(土) 11:00～15:00	ローズホテル横浜
京都支部	2019/ 7/13(土) 11:30～14:30	ホテルセントノーム京都
愛媛支部	2019/ 8/11(日)	にぎたつ会館
秋田支部	2019/10/19(土)	ホテルパールシティ秋田竿燈大通り
長崎支部	2019/11/10(日)	レオプラザホテル佐世保

発行者 東京理科大学校友会(理窓会) | 編集委員会 委員長/近藤明(工・工化1973)

会長 増淵忠行(理・物1968)

委員/大岩昭之(工・建1968)、齋藤常男(理・物1971)、前田光男(理・化1981)

理窓会事務局 E-mail: risoukai@alumni.tus.ac.jp ホームページ: <http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp> fb: <https://facebook.com/risoukai.tus/>
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂7階 Tel:03-3260-0725 Fax:03-3260-4257

表紙写真 上:近藤明(工・工化1973)、下:大岩昭之(工・建1968)